

# RYUKOKU GLOBAL VISION 2023



2020年10月

---

龍谷大学  
グローバル教育推進センター

You,  
Unlimited



## Ryukoku Global Vison2023 目次

- 1 Ryukoku Global Vison2023 の策定にあたって.....p.1
- 2 グローバルプレゼンスを向上させる 4 つのカテゴリーと 21 のプロジェクト.....p.2
- 3 プロジェクト 21 .....pp.3~7
- 4 参考データ等.....p.8

## I. RYUKOKU GLOBAL VISION 2023 の策定にあたって

本学は第5次長期計画（2010～2019年度）において、スローガンである「進取と共生、世界に響きあう龍谷大学」の下、教育の国際化推進に向けたアクションプランとして、『龍谷大学国際化ビジョン2020～世界に響きあうRyukokuの実現に向けて～』を策定した。そして、「学生・教職員のそれぞれが、国際的な交流や共同研究をおこない、教育・研究の国際化をさらに進め、多文化共生キャンパスを展開するとともに、教育・研究・社会貢献において、情報基盤が整備された広範な国際的ネットワークを有する大学になる」という第5次長期計画で掲げた2020年の龍谷大学像の実現を目指しそれぞれのアクションプランに取り組んできた。

その結果、協定校は国際交流一般協定で世界48か国175大学・機関、学生交換協定で34か国116大学まで拡大し、文字通り広範な国際ネットワークを有する大学に成長した。また、学生交換協定校や短期留学プログラムの開発を積極的に進めてきたことにより、派遣留学生数は第5次長期計画時に設定した目標値750名を既に上回り、2018年度で766名まで拡大させることができた。一方、東日本大震災後から受入留学生数は減少の一途たどり、ピーク時の2011年度に556名在籍した外国人留学生数は2019年度後期には421名にまで減少した。競合する主要大学が外国人留学生を増加させている中、本学はそれに比して極めて稀な状態にあり、危機的な状況に陥っていると言わざるを得ない。

このような状況に鑑み、今回策定する“Ryukoku Global Vision 2023”では、制定された「基本構想400」（2020～2039年度）に沿って、日本人学生を中心とした派遣留学生数の拡大はもちろん、来るべき多文化共生社会に備えて「多様性を受け入れ、外国人と共に生きていくことができる社会」に対応する人材育成のため、全学部が積極的に留学生を受け入れることを目指す。そのために、外国人留学生入試における募集人員の設定、日本留学試験を積極的に活用した入学試験の展開、外国人留学生入試の受験機会の拡大を通じ、受入留学生数のV字回復、更には全学生数に対する留学生比率5%以上というグローバルスタンダードに必要な最低クリア基準達成に向けた基盤形成を行っていき、次の4年（2027年）、8年（2031年）での達成に繋げていく。

その上で、数値目標を達成することだけにとらわれることなく、学生たちが異文化間対話を行えるような多様な機会（外国人留学生の受入・本学学生の派遣留学・国際共修科目開発）を創出し、龍谷大学らしいMagokoroある地球市民を育むことで世界の平和に寄与することを国際支援部門の大きな目標とする。

また、留学生獲得競争が国内のみならず、国境を越えて激化している状況を踏まえ、イギリスの大学評価機関「クアクアレリ・シモンズ社（QS）」やTimes Higher Educationにおけるアジア大学ランキングでの順位向上に繋がる取組を強化し、「アジアを中心とした世界各国の学生から選ばれる大学」としての地位の確立を目指す。

21世紀に入り、立て続けに、これまでの生活様式や価値観を根底から覆されるような自然災害や地球規模の感染症に直面している。今や地域レベルだけの課題の解決は不可能で、持続可能な社会を構築するためには、諸外国との連携協力が欠かせない。一方、国境を越える物理的な人の移動を著しく困難にしている新型コロナウイルス感染症が収束しない状況下においては、教育や研究をめぐる国際連携や国際展開は従来の方法では立ち行かない状況となっている。”Ryukoku Global Vision 2023”の実現にあたっては、この困難な現状を、「変化を起こす挑戦の好機」と捉え柔軟でクリエイティブな思考でチャレンジしていきたい。

2020（令和2）年10月  
龍谷大学 学長 入澤 崇

## II グローバルプレゼンス向上のための4つのカテゴリと21のプロジェクト

### 1. 留学促進 6 projects

---

- ①派遣留学生数 1,000 名の達成
- ②新たな留学モビリティの模索も含めた短期留学プログラムの開発
- ③留学補助制度の確立
- ④交換留学を促進するための施策
- ⑤グローバル・サポーター制度の創設
- ⑥グローバル・キャリア・チャレンジプログラム (GCCP) の展開

### 2. 受け入れ留学生拡大・環境整備 7 projects

---

- ⑦受入留学生数 700 名の達成
- ⑧新たな入試制度の実施と更なる改革の推進
- ⑨学生交換協定校 150 校の達成
- ⑩大学間連携による留学生の確保
- ⑪日本語教育プログラムの充実
- ⑫海外広報の充実
- ⑬外国人留学生就職支援体制の充実

### 3. 教育・研究環境整備 4 projects

---

- ⑭英語で学位が取れるプログラムの開発
- ⑮海外拠点の積極的活用・新規開発
- ⑯全学的なデュアル・ディグリー・プログラムの開発
- ⑰国際共修科目の開発・展開

### 4. グローバル化推進のためのガバナンスの強化 4 projects

---

- ⑱大学ランキングに関する全学的取り組み
- ⑲海外派遣危機管理体制の充実
- ⑳国際化に対応できる事務組織の再編成
- ㉑事務職員の国際化対応力の強化

### Ⅲ 21 のプロジェクト

#### 1. 留学促進

R-Globe プロジェクト①	対応する全学構想 400Act-P No.
派遣留学生数 1,000 名の達成	1-11-①

2023 年度までの達成目標を 1,000 名に設定する。

(但し、2021 年度以降に新型コロナウイルス感染拡大が収束に向かい、国際交流が通常の状態に戻ることを前提とする。)

※THE 日本大学ランキングの更なる向上の一方策として、海外合宿やフィールド調査、休学や休暇中の私費での留学、個人旅行など全ての渡航を対象に集計するシステムを構築する。

R-Globe プロジェクト②	対応する全学構想 400Act-P No.
新たな留学モビリティの模索も含めた短期留学プログラムの新規開発	1-11-①

全学を対象とした単位認定型短期留学プログラムの開発に引き続き取り組むと同時に、感染症が全世界的に発生しても安定して実施できる新たな留学モビリティ（オンライン上の国際交流等）の可能性についても検討する。

併せて、障がいのある学生が安心して参加できるプログラムを開発にも努める。

R-Globe プロジェクト③	対応する全学構想 400Act-P No.
留学補助制度の確立	1-11-②

校友会海外留学プログラム奨励金を広く周知し、経済的に留学が困難な学生に対する支援体制を確立するとともに、校友会からの支援が終了した後も引き続き制度継続が可能となるよう、財源の確保に取り組んでいく。

R-Globe プロジェクト④	対応する全学構想 400Act-P No.
交換留学を促進するための施策	1-11-①

交換留学への参加を促し、語学要件の充足を促進するため、グローバルコモンズ内に設置されたランゲージ・スタディ・エリア内の対策教材の充実を図るとともに、IELTS などの語学試験無料講座を開講する。

R-Globe プロジェクト⑤	対応する全学構想 400Act-P No.
グローバル・サポーター制度の創設	1-10-②、1-10-③

学生の留学促進や学内のグローバル化を推進する担い手として、グローバル・キャリア・チャレンジ・プログラム参加経験者や留学経験者を中心に学生主体の運営組織〔グローバル・サポーター制度〕を新たに設立し、学生が学生の国際理解を支援するピアスタディの制度を整える。

R-Globe プロジェクト⑥	対応する全学構想 400Act-P No.
グローバル・キャリア・チャレンジプログラム（GCCP）等による低年次からの国際理解への意識づけ	1-15-⑥

グローバル・キャリア・チャレンジプログラム等を通して、低年次から国際理解への意識付けを行い、留学やインターシップに積極的に取り組む学生を増加させ、様々なプログラムへの参加を通じて本学においてグローバル人材のコアとなる学生の育成に取り組む。

## 2. 受け入れ留学生拡大・環境整備

R-Globe プロジェクト⑦	対応する全学構想 400Act-P No.
受入留学生数 700 名の達成	1-11-②

2023 年度までに受入留学生数を 700 名まで拡大するとともに、全学生数に対する留学生比率 5%以上（約 1,100 名）というグローバルスタンダードに必要な最低クリア基準達成に向けた基盤形成を行い、次の 4 年（2027 年）または 8 年（2031 年）での目標達成に繋げていく。

（但し、2021 年度以降に新型コロナウイルス感染拡大が収束に向かい、国際交流が通常の状態に戻ることを前提とする。）

R-Globe プロジェクト⑧	対応する全学構想 400Act-P No.
新たな入試制度の実施と更なる改革の推進	1-5-⑥

2021 年 4 月入学対象外国人留学生入試より、①日本留学試験の積極的活用及び点数化による合否判定、②外国人留学生入試における募集人員の設定、③外国人留学生入試の複数回受験機会の設定の 3 つの入試改革を実施し、志願者数大幅増に向けて取り組む。

また、日本留学試験を活用した渡日前入試の検討や英語で学位が取れるプログラムの開発の進捗状況と併せて、英語基準の入学試験の実施も併せて検討していく。

R-Globe プロジェクト⑨	対応する全学構想 400Act-P No.
学生交換協定校 150 校	1-11-④

目標数値を 150 大学とする。派遣留学生数 1,000 名、受入留学生数 700 名達成に向けて双方向での交換留学志願獲得に努める。正規留学生の出身地域が東アジア圏からが多くを占める本学において、その他の地域からの受入が多い交換留学は、多様性の面から重要な位置づけとしてとらえる。

R-Globe プロジェクト⑩	対応する全学構想 400Act-P No.
大学間連携による留学生確保	1-5-⑦

既に包括協定を締結した瀋陽大学（付属高校等を含む）などを中心に、優秀な留学生を安定的に入学させるシステムの確立（推薦入学制度など）に取り組むとともに、留学生の量的拡大に繋がる確保方策を検討していく。

R-Globe プロジェクト⑪	対応する全学構想 400Act-P No.
日本語教育プログラムの充実	1-11-⑤

深草学舎教養教育、留学生別科、JEP Kyoto Program の日本語教育を対象とした「日本語教育プログラム運営調整会議」を中心として、留学生の日本語教育を充実させる。加えて、日本語教育の質保証強化に取り組むと共に、将来の発展的展開について検討を進める。

R-Globe プロジェクト⑫	対応する全学構想 400Act-P No.
海外広報の充実	2-4-⑦、A-1-⑤、4-3-④

優秀な留学生の確保に向けて、海外拠点を活用しながら、海外における入試広報を強化する。また、浄土真宗本願寺派が持つ世界的な拠点を活用した募集活動を積極的に展開し、世界各国からの留学生誘致に取り組んでいく。

R-Globe プロジェクト⑬	対応する全学構想 400Act-P No.
外国人留学生就職支援体制の充実	1-15-⑤

外国人留学生の増加（特に学部留学生）に伴い、留学生に対する就職支援体制をキャリアセンターと協働で強化する。また、留学生対象のインターンシップ受入枠を積極的に拡大し、低年次から就職に対する留学生の意識向上に取り組む。

### 3. 教育・研究環境整備

R-Globe プロジェクト⑭	対応する全学構想 400Act-P No.
英語で学位（学部）が取れるプログラムの開発	1-8-⑥

多様な留学生を受け入れるためには、日本の大学で既に標準装備化している学部レベルの英語による学位プログラムの開発が欠かせない。国際学部グローバルスタディーズ学科を中心として英語で学位が取れるプログラムの開発に取り組む。なお、プログラムの開発に際しては、教員人件費等相当の財政的な負担が生じることから、当該学部だけに負担が集中することのないよう、大学政策枠の一部活用も含めた負担軽減策も併せて検討する。

R-Globe プロジェクト⑮	対応する全学構想 400Act-P No.
海外拠点の積極的活用・新規開拓	2-4-⑦、A-1-⑤、4-3-④

既存のバークレーセンター（RUBeC）、ハワイオフィス（RUHO）の有効活用に加え、本願寺の世界的ネットワークを活用し、海外拠点の設置及び留学生誘致活動に関する具体的方策を検討する。

R-Globe プロジェクト⑯	対応する全学構想 400Act-P No.
全学的なデュアル・ディグリー・プログラムの開発	1-8-⑦

英国のセントラルランカシャー大学など、海外協定校とデュアル・ディグリー・プログラムに関する個別協定を締結し、できるだけ早期に運営を開始する。なお、費用負担については、学生の経済的負担を軽減するため、校友会や親和会にも支援の検討を依頼する。

R-Globe プロジェクト⑰	対応する全学構想 400Act-P No.
国際共修科目の開発・展開	1-7-⑤

交換留学生を対象としたプログラム「**Japanese Experience Program in Kyoto**」のうち、日本語及び英語で開講されている日本事情科目、特別講義及び JEP-E 科目群を教養教育科目や学部専門科目のグローバル科目（仮称）として合併開講を目指す。加えて、担当教員が留学生の受講を希望する科目（留学生推奨科目）を通じ、留学生と日本人学生が共に学ぶ環境を構築する。

#### 4. グローバル化推進のためのガバナンスの強化

R-Globe プロジェクト⑱	対応する全学構想 400Act-P No.
大学ランキングに関する全学的取り組み	2-4-⑥

##### 1) UniRank 仏教系世界 NO.1 大学としてのブランド力の確立

大学ランキング機関である UniRank から 2 年連続で仏教系世界ランキング 1 位を獲得しており、仏教系における世界のリーディング大学としての地位を確固たるものにするための取り組み（世界宗教フォーラムや世界的仏教研究者の積極的招聘）を強化し、ブランド力の向上に取り組む。

##### 2) QS・THE アジア大学ランキングの評価向上

QS・THE アジア大学ランキングにおいて 400 位以内を目標とし、各項目でのポイント向上に繋がる取り組みを強化する。また、大学ランキング機関（QS・THE）とのコミュニケーションを重視し、ランキング向上に繋がるマーケティング手法等についての調査も併せて実施する。

R-Globe プロジェクト⑲	対応する全学構想 400Act-P No.
海外派遣危機管理体制の充実	1-11-⑥

海外危機管理マニュアル（2015.4.1 制定）をベースとしつつ、2020 年に発生した新型コロナウイルスのような全世界的なパンデミックにも対応すべく感染症危機管理機能を強化したものにマニュアルを改定する。加えて、海外における学生の事故、病気、自然災害等の危機事象に迅速に対応できる危機管理システム（クラウド等での対応）を構築し、海外派遣している学生への安否確認や迅速な情報提供を行える体制を整える。

加えて、海外からの受入留学生の危機管理体制関しても整備する。



R-Globe プロジェクト⑳	対応する全学構想 400Act-P No.
<b>グローバル化に対応できる事務組織の再編成</b>	<b>1-11-⑥</b>

大学院では既に国際学研究科と経済学研究科が英語で学位が取れるプログラムを実施しており、入試広報や実施、入学時のオリエンテーション、日常的な学生生活に関する指導など様々な場面で英語対応を求められる状況になってきている。現状では、各教務課で受入体制が整備されているとは言い難く、それら英語プログラムを取りまとめる部署の設置（例えば、対応チームや大学院英語プログラム事務課「仮称」など）を検討し、集中的かつ効率的に対応する体制を構築する。

R-Globe プロジェクト⑳	対応する全学構想 400Act-P No.
<b>事務職員のグローバル化対応力の強化</b>	<b>2-9-⑥</b>

グローバル化に対応できる事務職員を育成するため、海外高等教育研修や海外語学研修などの制度を継続するだけでなく、事務職員の新規採用時の条件に語学運用能力を加えることも検討する。また、TOEIC 受験料補助制度を新設して事務職員に受験を促すとともに、800 点を取得した職員の割合の目標値を 20%に設定する。

加えて、外国人を含み、多様なバックグラウンドを持つ国際通用性のある事務職員の採用を行う。

#### IV 参考データ等

##### 1. 受入留学生数 700 名達成シミュレーションの内訳

留学生種別	人数	補記
正規留学生	510 名	2020 年度からの外国人留学生入試における募集人員の設定（従前の 35 名→124 名）による増加を見込む
留学生別科生	40 名	
交換留学生	125 名	
その他（特別留学生・研究生等）	25 名	
合計	700 名	

##### 2. 本学の過去派遣留学生数推移

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
452	452	418	525	494	450	441	636	685	766	697

以 上

# RYUKOKU GLOBAL VISION 2023



October 2020

---

Ryukoku University  
Center for the Promotion of Global Education

You,  
Unlimited



## Ryukoku Global Vision 2023 Table of Contents

1 Formulation of Ryukoku Global Vision 2023* .....	1-2
2 Enhancing our Global Presence (4 Categories and 21 Projects).....	2
3 Project 21.....	3 -8
4 Reference Data.....	9

## I . Formulation of RYUKOKU GLOBAL VISION 2023

Under the slogan "Enterprise and Coexistence: Ryukoku University Makes an Echo in the World" included in the Long Term Plan V(2010-2019), the promotion of education internationalization was established through the Action Plan "Vision 2020 - Ryukoku Makes an Echo in the World". Furthermore, we have endeavored to work on each action plan with the aim of realizing the image of Ryukoku University in 2020, set forth in the Fifth Long Term Plan, which is that "Students and Faculty Members will conduct international exchanges and joint research to further promote the internationalization of education and research. A multicultural and symbiotic campus will be developed, providing infrastructure for education, research, and social contribution, and we will become a university with an extensive international network".

As a result, we have grown into a university with an extensive international network. The number of our International Partners has expanded to 175 Universities/Institutions in 48 countries around the world (General Memorandum of Understanding) and 116 Universities/Institutions in 34 countries (Student Exchange Agreement), respectively. In addition, by actively promoting the increase of Student Exchange Partners and short-term study abroad programs, the number of outbound students has already exceeded the target value of 750 (established within the Fifth Long Term Plan), and was expanded to 766 in 2018. However, the number of inbound international students has been steadily decreasing since the Great East Japan Earthquake, and the peak number of international students enrolled in 2011 decreased to 421 in the latter half of 2019. While other major university competitors have seen an increase in the number of international students, we must say that our university is in an extremely rare and critical situation.

In view of this situation, Ryukoku Global Vision 2023 will increase the number of outbound students (mainly Japanese), in line with the enacted "Ryukoku Strategic Plan 400" (2020-2039). Furthermore, in preparation for the multicultural society of the near future, all Faculties will aim to actively accept international students in order to develop human resources who are able to attend to "a society which accepts diversity and can co-exist with foreigners". For that purpose, by setting recruitment personnel for international student admissions, by developing admissions procedures which actively utilize the "Examination for Japanese University Admission for International Students", and by expanding opportunities for international students to take entrance exams, the number of admitted international students will recover in a V-shape. This will form a foundation for achieving the minimum required for the global standard for the total international student number of five percent or more, contributing to our achievement in the following four years (2027) and eight years (2031).

In addition, we will provide various opportunities for students to engage in cross-cultural dialogue (the admittance of international students, outbound mobility for our students, developing international general education subjects) without limitation to the achievement of numerical goals. A major aim of those areas providing international support is to contribute to world peace by creating and nurturing global citizens, with a Ryukoku flavor, who possess the qualities of *Magokoro*.

Furthermore, in light of the intensifying competition for international students not only in Japan but also across national borders, we will improve our 'Asia University' ranking through the UK-based university evaluation institution "Quacquarelli Symonds (QS) as well as Times Higher Education. We will aim to strengthen and connect our efforts, establishing our position as a "university chosen by students from all of the world, especially within Asia".

Entering the 21st century, we are facing natural disasters and infectious diseases on

a global scale which undermine our lifestyles and values. It has become impossible to solve problems at the regional level alone, and cooperation with other countries is indispensable for building a sustainable society. On the other hand, in the situation where the Novel Coronavirus makes it extremely difficult for people to physically move across national borders, international cooperation and expansion related to education and research cannot be achieved by conventional methods. In order to realize Ryukoku Global Vision 2023 (tentative name), I wish to view this difficult situation as "an opportunity to take on the challenge of making a difference", and do so with flexible and creative thinking.

October 2020  
Takashi Irisawa  
President, Ryukoku University

## II Enhancing our Global Presence (4 Categories and 21 Projects)

### 1. Promotion of Study Abroad 6 Projects

- ① Achievement of 1,000 Outbound Students
- ② Development of Short-Term Study Abroad (Including New Outbound Mobility Opportunities)
- ③ Establishment of Subsidy Assistance for Study Abroad
- ④ Establishment of Measures to Promote Outbound Student Exchange
- ⑤ Establishment of Global Supporter System
- ⑥ Expansion of Global Career Challenge Program (GCCP)

### 2. Expansion of Admitted International Students / Environment Improvement 7 Projects

- ⑦ Achievement of 700 International Students
- ⑧ Implementation of a New Entrance Examination System and Promotion of Further Reforms
- ⑨ Achievement of 150 Student Exchange Partner Universities/Institutions
- ⑩ Securing International Students through Collaboration Between Universities
- ⑪ Enhancement of our Japanese Language Education Program
- ⑫ Enhancement of Public Relations Overseas
- ⑬ Enhancement of Employment Support System for International Students

### 3. Education / Research Environment Improvement 4 Projects

- ⑭ Development of English Language-based Degree Programs
- ⑮ Active Utilization and New Development of Overseas Bases
- ⑯ Development of a University-wide Dual Degree Program
- ⑰ Development and Expansion of International General Education Subjects

### 4. Strengthening of Governance to Promote Globalization 4 Projects

- ⑱ University-wide Efforts Regarding Institutional Ranking
- ⑲ Enhancement of Outbound Crisis Management System
- ⑳ Reorganization of an Administration which Responds Effectively to Internationalization
- ㉑ Strengthening the Ability of Administrative Staff to Respond to Internationalization

### III 21 Projects

#### 1. Promotion of Study Abroad

---

R-Globe Project ①	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Achievement of 1,000 Outbound Students	1-11-①

Our achievement target for 2023 is 1,000 Outbound Students.

(It is assumed that the spread of the Novel Coronavirus will subside after 2021 and that international exchanges will return to normal.)

※As a measure to further improve our THE Japan ranking, we will build a system that considers all travel such as overseas training camps, field surveys, study abroad at one's private expense during a leave of absence or vacation, and individual travel.

R-Globe Project ②	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Development of Short-Term Study Abroad (Including New Outbound Mobility Opportunities)	1-11-①

While continuing to work on the development of a credit-bearing short-term study abroad program available university-wide, we will also consider the possibility of new outbound mobility (online international exchange, etc.) which can be implemented even if infectious diseases occur worldwide.

At the same time, we will strive to develop a program in which students with disabilities can participate with peace of mind.

R-Globe Project ③	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Establishment of Subsidy Assistance for Study Abroad	1-11-②

We will endeavor to disseminate information widely about the Alumni Association overseas study program incentives, establish a support system for students who have difficulties studying abroad economically, and secure financial resources so the system can be continued even after support from the Alumni Association has ended.

R-Globe Project ④	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Establishment of Measures to Promote Outbound Student Exchange	1-11-①

In order to encourage participation in exchange programs and to promote the fulfillment of language requirements, teaching materials in the Language Study Area (established in the Global Commons) will be enhanced, and free language test courses (i.e. IELTS) will be offered.

R-Globe Project ⑤	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Establishment of Global Supporter System	1-10-②、1-10-③

As the leader in promoting student outbound mobility and globalization within the university, we have established a new student organization [Global Supporters], centered on those who have participated in the Global Career Challenge Program (GCCP) and those who have studied abroad. It is a peer program that supports students' international understanding.

R-Globe Project ⑥	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Expansion of Global Career Challenge Program (GCCP)	1-15-⑥

Through the Global Career Challenge Program, etc. we will raise international understanding and awareness in students from their early years at the university and increase the number of students who actively engage in study abroad and internships. Through participation in various programs, we will work to develop students who will form the core global human resources of our university.

## 2. Expansion of Admitted International Students / Environment Improvement

R-Globe Project ⑦	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Achievement of 700 International Students	1-11-②

By 2023 we will increase the number of inbound international students to 700 and form a foundation for achieving the minimum clearing standard required for the global standard of 5% or more (about 1,100) of international students to the total number of students. This will lead to the achievement of our four-year target (for 2027) or eight-year target (for 2031).

(It is assumed that the spread of the Novel Coronavirus will subside after 2021 and that international exchanges will return to normal.)

R-Globe Project ⑧	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Implementation of a New Entrance Examination System and Promotion of Further Reforms	1-5-⑥

From the time of entrance exams for international students eligible for admission in April 2021, (1) active utilization of the EJU and pass/fail judgement by scoring will be used, (2) recruitment personnel will be set for International Student Admissions, and multiple opportunities for International Students to take the entrance exam will be implemented. Through the establishment of these three admissions reforms, we will endeavor to significantly increase the number of applicants.

In addition to considering the pre-admission Examination for Japanese University Admission for International Students as well as progressing in the development of a program which allows students to obtain a degree in English,



we will also consider the implementation of an English-based entrance examination.

R-Globe Project ⑨	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Achievement of 150 Student Exchange Partner Universities/Institutions	1-11-④

We will set a target of 150 universities. To achieve our goal of 1,000 outbound students and 700 inbound students, we will strive to acquire applicants for international exchange in both directions. While most of the regular international students at our university come from East Asia, we take it as our position that students accepted from other regions through international exchanges are very important in contributing to our diversity.

R-Globe Project ⑩	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Securing International Students through Collaboration Between Universities	1-5-⑦

With a focus on Shenyang University (including its affiliated high school) and other institutions with which we have already established a comprehensive partnership agreement, we will consider measures to establish a system for the sustainable admission of exemplary international students (Recommendation-based Admissions System, etc.) and secure a lead to the quantitative expansion of international students.

R-Globe Project ⑪	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Enhancement of our Japanese Language Education Program	1-11-⑤

We will enhance Japanese language education for international students undertaking studies in general education subjects on Fukakusa Campus, in the Japanese Culture and Language Program (JCLP), and in the Japanese Experience Program in Kyoto (JEP Kyoto), based in the Language Education Program Management Coordination Meeting. In addition, we will work to strengthen quality assurance in Japanese language education and consider future developments.

R-Globe Project ⑫	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Enhancement of Public Relations Overseas	2-4-⑦、A-1-⑤、4-3-④

We will strengthen our provision of admissions information overseas while utilizing overseas bases to secure exemplary international students. In addition, we will actively develop recruitment activities utilizing the global bases of the Jodo Shinshu Hongwanji Sect and work to attract international students from throughout the world.

R-Globe Project ⑬	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Enhancement of Employment Support System for International Students	1-15-⑤

As the number of international students increases (at the undergraduate level in particular), the employment support system for international students will be strengthened in collaboration with the Career Center. In addition, we will actively expand the internship acceptance limit for international students, and work to raise their awareness about employment from their early years at the university.

### 3. Education / Research Environment Improvement

R-Globe Project ⑭	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Development of English Language-based Degree Programs	1-8-⑥

In order to accept a diverse range of international students, it is essential to develop an undergraduate-level degree program in the English language (which has already become a standard at Japanese universities). We will endeavor to work on the development of a program which allow students to obtain a degree in English, centered within the Faculty of International Studies, Department of Global Studies. In developing this program, there will be a considerable financial burden (such as the personnel cost for Faculty Members), so measures will be considered by which the burden will be reduced by partially utilizing a university policy frame by which the cost will not be concentrated only on the relevant Faculty.

R-Globe Project ⑮	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Active Utilization and New Development of Overseas Bases	2-4-⑦、A-1-⑤、4-3-④

In addition to the effective use of the existing Berkeley Center (RUBeC) and Hawai'i Office (RUHO), we will consider specific measures for establishing overseas bases and attracting international students through the utilization of Hongwanji's global network.

R-Globe Project ⑯	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Development of a University-wide Dual Degree Program	1-8-⑦

We will conclude separate dual-degree program agreements with overseas Partner Universities (such as the University of Central Lancashire in the United Kingdom) and start operations as soon as possible. Regarding the cost burden, in order to reduce the financial burden on students, we will ask the Alumni Association and Shinwakai to consider providing support.

R-Globe Project ⑰	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Development and Expansion of Global General Education Subjects	1-7-⑤

We will aim to merge Japan-related elective subjects and special lectures (taught in Japanese and English) within the Japanese Experience Program in Kyoto (a program established specifically for exchange students), as well as JEP-E subjects, with intra-faculty liberal arts subjects and faculty-based specialized subjects to create Global Subjects\* (\*tentative name). In addition, we will build an environment in which both international students and Japanese students can study together through courses in which the instructor wishes to accept international students (Recommended Courses for International Students).

#### 4. Strengthening of Governance to Promote Globalization

R-Globe Project ⑱	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
University-wide Efforts Regarding Institutional Ranking	2-4-⑥

- 1) UniRank Established Brand as the World's #1 Buddhist University  
Ryukoku University was ranked #1 in the Buddhist University World Rankings for two consecutive years, through the university ranking institution UniRank. In an effort to solidify our position as the world's leading Buddhist university, we will work to strengthen the power of our brand by actively inviting researchers in Buddhism, as well as holding World Religion Forums.
- 2) Improvement of our QS/THE Asian University Ranking  
We will aim to be ranked within the top 400 of the QS/THE Asian University Rankings, and will strengthen our efforts to improve our point scores in each area. Also, focusing on communications with QS/THE, we will conduct a survey regarding marketing methods that lead to improved rankings.

R-Globe Project ⑲	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Enhancement of Outbound Crisis Management System	1-11-⑥

Based on the Overseas Crisis Management Manual (established in April 2015), enhancements will be made with the addition of an infectious disease crisis management section to support global pandemics, such as the Novel Coronavirus which appeared in 2020. Furthermore, a crisis management system will be developed to quickly respond to such incidents as accidents, illnesses, and natural disasters concerning outbound students located overseas, as well as to confirm their safety. We will establish a system by which information can be provided in a prompt manner. In addition, the crisis management system for inbound international students will be improved.

R-Globe Project <sup>20</sup>	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Reorganization of an Administration which Responds Effectively to Internationalization	1-11-⑥

Amongst our Graduate Schools, the Graduate School of International Studies and the Graduate School of Economics have already implemented programs which allow students to obtain a degree in English. There is an increasing demand for English support in various situations such as in public relations, admissions procedures, orientation at the time of entrance, and daily student guidance. At present, not all Faculty Offices have such an admissions system in place, so we are considering the establishment of a department to handle the organization of those English-based programs -- for example, the Corresponding Team and the Graduate School English Program Office\* (\*tentative name), through which a system will be built to provide intensive and efficient handling.

R-Globe Project <sup>21</sup>	Corresponding University-Wide Concept 400Act-P No.
Strengthening the Ability of Administrative Staff to Respond to Internationalization	2-9-⑥

In order to cultivate an Administrative Staff which is able to respond to globalization, we will consider not only overseas higher education training and language training, but also the addition of language proficiency to the hiring conditions for new Administrative Staff Members. In addition, a new TOEIC test fee subsidy system will be established to encourage Administrative Staff Members to take the test. The target value for the percentage of staff who have obtained 800 points will be set at 20%.

In addition, Administrative Staff Members with various backgrounds and global versatility (including foreigners) will be hired.

#### IV Reference Data

##### 1. Simulation: Achievement of 700 International Students

International Student Category	Number of Students	Supplemental Information
Regular International Students	510	Expected to increase due to the setting of recruitment personnel (from previous 35 → 124) for International Student Admissions from 2020
Japanese Culture and Language Program Students	40	
Exchange Students	125	
Other (Special International Students · Research Students, etc.)	25	
Total	700	

##### 2. Changes in Outbound International Student Numbers from Ryukoku University

2009	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018	2019
452	452	418	525	494	450	441	636	685	766	697